

産学連携本部

「University Venture Grand Prix 2012」開催

起業家教育を受けている大学・大学院生を対象にした全国規模のビジネスプランコンテスト「University Venture Grand Prix 2012」（主催：大学・大学院起業家教育推進ネットワーク、経済産業省／共催：産学連携本部、文部科学省）が12月8日、福武ホールで開催された。学生が起業家教育を受講する際の意識の向上を図るとともに、起業家教育に携わる大学教員に対しても、教育の質の向上へとつながる意見交換やネットワークの場を提供することを目的としている。

冒頭、保立和夫産学連携本部長が「大学におけるアントレプレナーシップのマインド醸成が重要視されています。日本経済の閉そく感を打破するようなイノベーションを興すためにも、学生の皆さんの大きな活躍が期待されています」と挨拶。

理念・ミッションをはじめ、新規性や実現可能性といった観点から厳正な審査が行われた結果、①University Venture グランプリ大賞に、青山学院大学 大学院 PETWORK チームの「ペット『無料』定期健康診断サービス PETWORK」、②教員・実務家賞に、立命館大学 レイクサイドラボチームの「ソニック・アイ～ハイテクベンチャーが創る福祉社会～」、③JVCA 賞に、東京大学 Soil Joy チームの「簡易土壌測定キット“土壌チェッカー”を用いた家庭菜園における最適肥料販売サービス」が選ばれた。

審査委員からは、「チームすべてが夢や理念を語り、新規性や社会性に加えて、現実味をも帯びたバランスのとれたプレゼンテーションだった。アントレプレナー教育の成果の向上を目の当たりにでき、非常に感心した」、「数値に関する根拠や説得力のある説明が入ることでより現実味が増し、投資を促せる」など、ビジネスプランやプレゼンテーションに対する高い評価とともに、事業化を加速化されるためのアドバイスが数多く寄せられた。



審査員の厳しい質問にも的確に返答する学生のみなさん



バランスのとれたプレゼンテーションが高く評価された



受賞の喜びをともに分かち合った